

## 書票

m、t

昨年、私が事務所を閉めた後に日本書票協会事務局が入居した。

事情が有り、私が引っ越しする前から事務所の一角に、書票協会の大きな額縁の包が棚にズラリと並び、積み重ねられていた。包の中に興味があったが調べる事も聞く事も出来ずにいたが、なんとなく気にかかっていた。

\*以下の文章は日本書票協会編著の著書「書物 蔵書票の世界」の個人的に興味のある部分の抜粋であり、版種の参考写真は協会会長の内田市五郎氏の蔵書票をお借りしたものである

### 書票とは何？

□ 書票とは正式には蔵書票といい、本の見返しに、自分の書物である事をわからせるために貼ってあるカードをいう。……世界共通語：エクスリプリス（蔵書からの一冊）

\*中国や日本では蔵書印が用いられ、西洋では紙片に印刷をした蔵書票が用いられた

### 書票の歴史

□ 蔵書票の起源は十五世紀中頃のヨーロッパで、貴重・高価な書物の管理のために始まったとされている。現存最古の蔵書票はドイツの木版蔵書票といわれている。図案については初期の西洋の物は所有者の紋章を使用し、それにモットーなどを書き込む事が多かった。

\*西洋の紋章は個人を象徴する物で日本の家紋とは異なる。

蔵書票がより絵画的になり印刷方式も多種になったのは十九世紀の後半からである。

□ 日本には、明治33年にチェコの画家が文芸美術誌に西洋蔵書票を掲載、紹介した。以降、多数作られる様になった。

### 書票の製作技法と作品

- 蔵書票には肉筆蔵書票と版画蔵書票とがある
  - \*肉筆は枚数が少なく目にふれる事が少なく
  - 大部分が版画で製作された物である
- 版画には凸版・凹版・孔版・平版・染版があり、また、材料による分類・製版方法による分類もある……国際蔵書票連盟認定版式

### 代表的製作技法と作品

- 木版



Antonin Odehnal 作



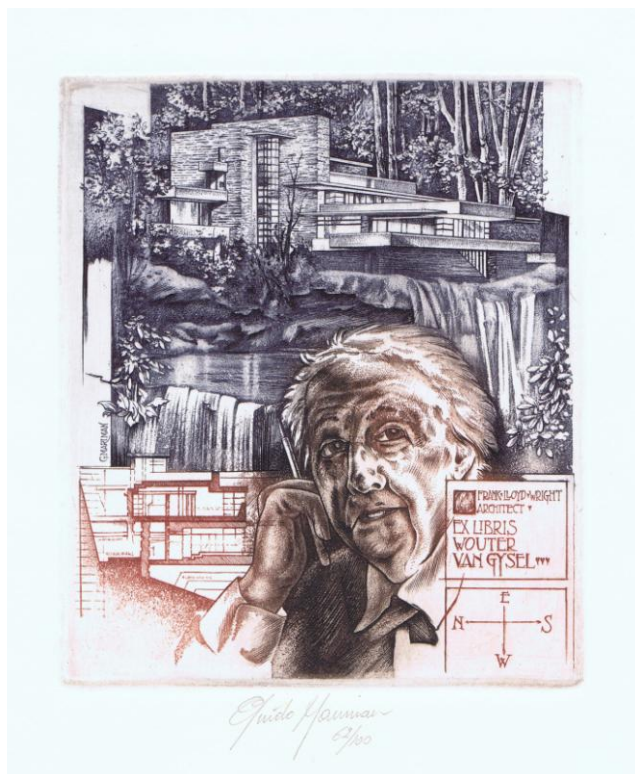
Umberto Giovannini 作





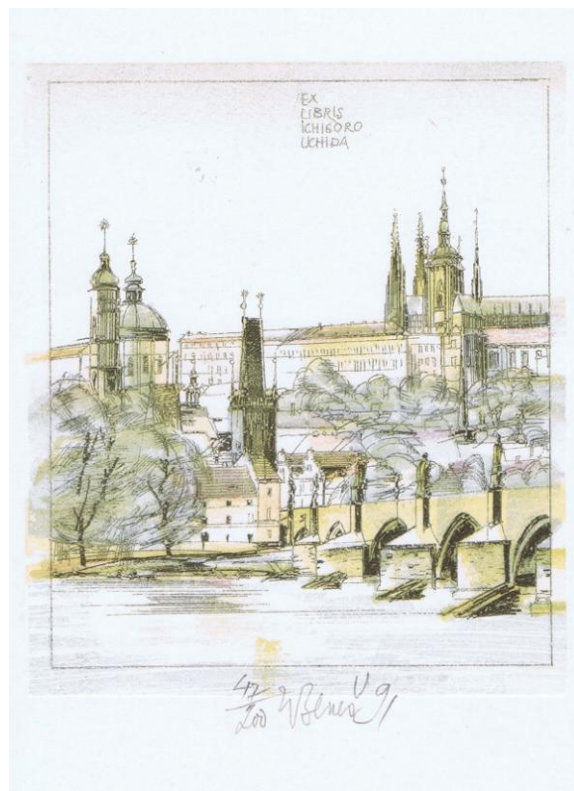
鵬程 作

□ 銅版 (リトグラフ)



Guido Mariman 作

saku



84/100  
Verner

ジョセフ ヴェルナー 作





杉本 一文 作

□ 孔版



末廣 吉成 作

## 蔵書票の魅力

小版画として魅力（美しさと高い芸術性のため）

### 蔵書票の特性

- 1 票主（書物の持ち主）と蔵書票作家との関係
  - ・票主は自分の好みの作家に自分の好みのテーマを依頼できる
  - ・票主は作家のパトロン的役割を演じ、無名の作家を育てあげる（池田満寿夫）
- 2 蔵書票は素人でも作れる、またそれを交換することにより、コレクターの仲間入りが可能となる
- 3 蔵書票を通して国内外のコレクターと交流できる。そして、それぞれの国の蔵書票協会に入会して、会員同士および大会に出席して交換入手する
  - ・蔵書票は古書店・版画店でも取り扱っていない・・・国内外とも同じ
  - ・世界大会が1年おきに各国持ち回りにて開催される
  - ・日本においては東京での全国大会と、地方都市でのフェスタが毎年交互に開催されている

### 著作権問題

蔵書票は票主と作家との共同製作の色合いが濃いために、一般の版画とは同一に論じられないとみられている。

（昨今、第三者が出版物に引用する際、作家・作家の遺族が著作権使用料を要求するケースがある）

### 日本書票協会

- ・昭和18年設立現在にいたる
- ・会員数 1000名弱

\*版種例のコピーでは蔵書票の魅力が伝えきれない